

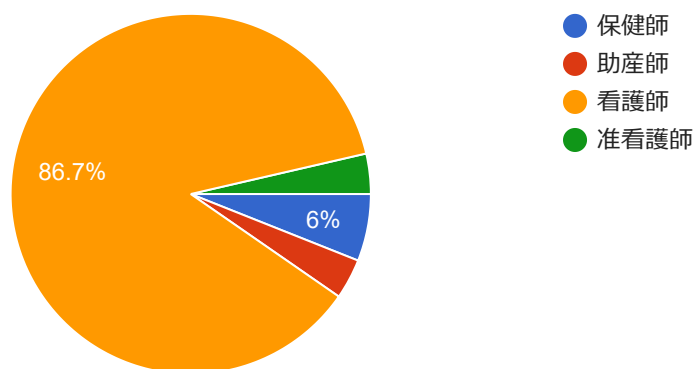
令和3年度看護師職能 I 交流会・研修会 アンケート

83 件の回答

[分析を公開](#)

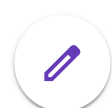
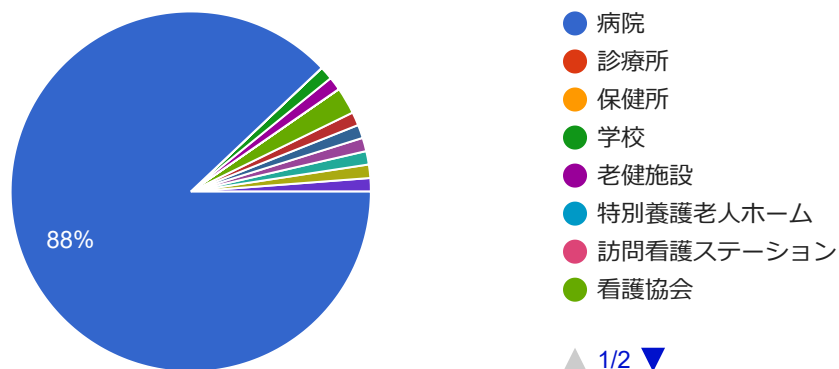
1. 職種

83 件の回答



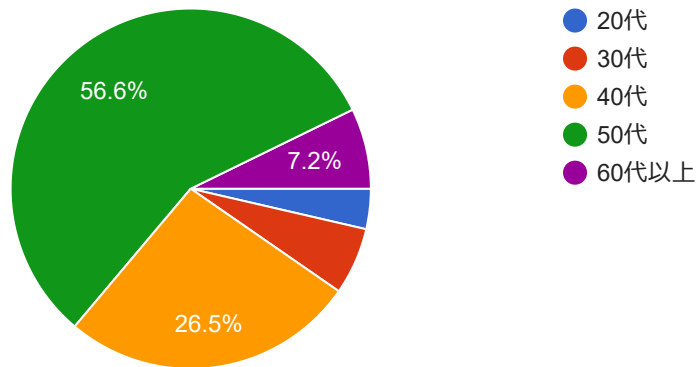
2. 所属

83 件の回答



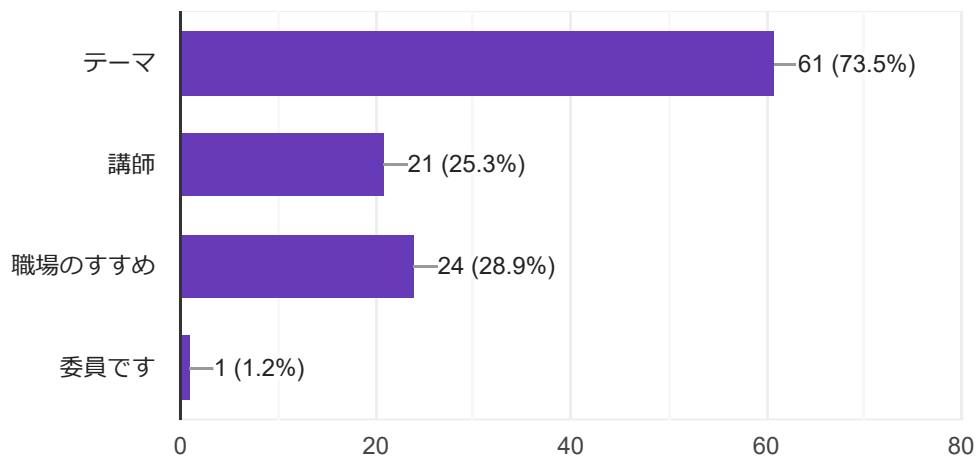
3. 年代

83 件の回答



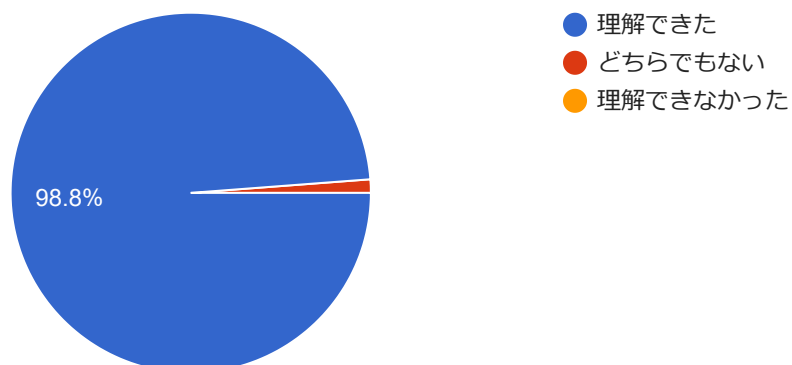
4. 受講の動機

83 件の回答



5. 「看護師職能委員会活動報告」について

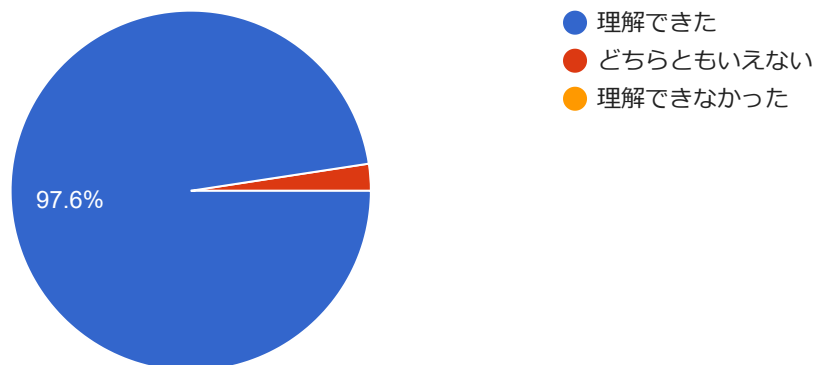
83 件の回答



6. 研修「COVID-19を正しく理解する～入院生活からその後の生活を考える」について

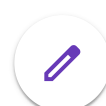
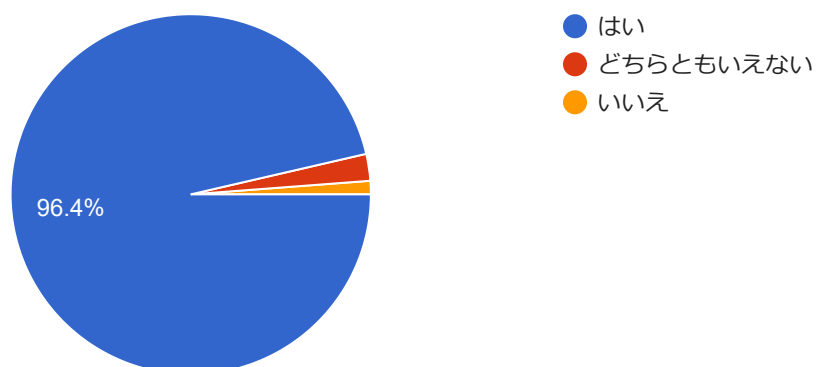
6-①. 研修内容について

83 件の回答



6-②. 今後、現場での看護業務に役立つ内容でしたか。

83 件の回答



6-③ 今回の研修についてご意見やご感想をお書きください。

<知識に関すること>

- 疾患について新しい情報を知ることができた。
- covid-19 の感染の仕組みがよくわかった。
- covid-19 のウイルス変異や後遺症症状についてわかった。肥満の方は脂肪組織からサイトカインが出て重症化しやすいことはメタボと同じではと思った。法的な治癒は 10 日だが、医学的には違うので、無理をしないように体調を見て生活をしていけるように支援していくことが大切だと感じた。
- コロナに関する正しい知識を身につけることができた。
- コロナの病態が今までよりより理解しやすいと感じた。
- コロナの知識が深められた。
- 正しい知識や技術の習得、病院全体で支援していく大切さを再認識できた。
- 第一：病気、第二：不安、第三：差別と3つの感染症に繋がっている。この負のスパイラルを断ち切るとともに看護者自身のメンタルを支えるためにも、疾患に対する正しい知識と技術が必要であると感じた。
- 疾患、看護についてわかりやすかった。
- 現場の方には役立つ内容だったと思う。
- 講師の働かれる病院での実践がよくわかった。
- 他の施設での状況を知ることができ、参考になった。

<看護、職員に関するご意見・感想>

- 看護師の視点で入院から退院後の患者のことを考えた対応は、病院職員の優しさや誠実さがよく伝わった。
- 前線で頑張られている病院がある中、当院はアフターコロナの受け入れすらしていない。今後検討も必要と感じた。
- 第一線で働かれている看護師さんのお話を聞くことができ、とても勉強になった。
- 正確な情報と人に寄り添うことが大事だと改めて考えた。
- 病院の受け入れ環境や、看護が目に見えて、いい研修だった。
思いやりを大事に、患者さんをケアされ、子供もぬりえで楽しく療養できるようにスタッフが考えていてすごいと思った。
- 大変過酷な状況の中、病院一丸となってコロナ患者さんのために取り組まれており、こんな病院が増えると良いのと思った。そのためにも、疾患についての正しい理解、必要な看護についての研修の機会が重要と感じた。
- 講師の働かれる病院の皆様の真摯な対応に大変感動した。私は手術室に勤務しており、covid-19 患者の手術に当たっているが、今日の講義を参考にして、これからもチームワ

ークを図り、日々努めたい。

- 看護の質を落とさない工夫をして、素晴らしい取り組みを改めて伺い感動した。職場に伝えて共有したい。
- 講師やナースの取り組みに頭が下がった。
- 看護とはどうあるべきか改めて考えることができた。
- 医師・看護師ともによくわかり思いやりのある医療・看護を感じた。
- 受け入れ病棟の実際、看護、またパス運用も知る機会となった。
- covid-19 の患者さんの医療と看護は平素の姿勢が反映されると感じた。白衣の上に防護服をつけ、大変だと思うが、必要な医療と看護を提供して、退院指導、退院後に聞ける体制、素晴らしいと思った。外来での対応頑張りたいと思った。
- コロナ患者が増えている中、入院中、退院後の支援まで大変なことだと思う。当院は後方支援病院となっているが、まだ、患者様の入院受け入れはしていないが、今日の研修を参考に患者様の立場や家族の支援までできるようになればと思う。
- アフターコロナを考えるいい機会になった。
- 講演の話から、スタッフ一人一人がプロとしての意識が高く。看護師としての責務を果たすだけではなく、人としてのかかわりを大切にしているのがわかった。
- コロナ患者の対応に関する思いが伝わってきた。
- 講師施設のコロナ病棟の取り組みを知ることができて良かった。コロナの病態の講義もためになった。
- 看護、ケアの流れがよくわかった。
- コロナなので何ができないではなく、いかに個別性のある看護ができるか、原点にということが大事だと再認識できた。
- コロナ病棟という限られた空間での、思いやりのある看護に感心した。
- 西部で covid-19 に日々患者と向き合われている医師・看護師の講義が受けられ、大変勉強になった。
- 現場ならではの話が聞けて良かった。看護の工夫に感銘を受けた。
- covid-19 についての知識はある程度理解しているつもりだった。コロナ感染を克服し、回復後の元患者に対する差別が深刻化している状況を今後は改善し、体も心も安楽に過ごしていけるような世界を目指し作って行かないといけないと思った。行政の対策とは別に、微力で申し訳程度だが自分ができる範囲でフォローしていけたらいいなと思った。
- 早期からコロナに対応する病院として、大変な苦勞だったと思うが、そんな中でも様々な工夫をされていると思った。大変だが、看護師として共に頑張っていきたいと思う。
- 改めて看護の基本を学べたと思った。
- 講師の、コロナがメディアを通して患者さんの心の闇や寂しさを暴いたとおっしゃった部分に本当に感動した。カラオケに行ったことを非難するでもなく、心の拠り所や居場所の存在、現在の核家族化、高齢者の独居問題などたくさんのことを考えないといけないんだ

なと思った。入院中だけが治療でもなく外来移行しても続いていくかもしれない後遺症や差別問題など、まだまだコロナに関する課題はたくさんあると思う。

- バックヤードと呼ばれる方の業務、看護度、介護度の高い状況においても、看護をしっかりされたことは素晴らしいと思った。
- コロナ患者の対応についての大変さなど、勉強になった。
- 暖かい医療・看護が行われていることが感じられた。
- スタッフにも働きやすさやしっかりした知識を持てるよう配慮されていて、働く環境は大事だと感じた。
- 対策に困ることがあれば相談させていただきたい。

<研修に対する感想>

- Zoomでの初めての参加で、資料にページ数の記載が欲しかった。
- 音声が聞き取りにくいところがあった。
- 音声がもっと良ければと思う。
- 講師の資料を閲覧できることになったのが良かった。
- 自宅から受講できありがたい。

7. 今後受けてみたい研修、職能委員会に対する要望等あればお書きください。

- 引き続きコロナ感染症について
- 今後もコロナ対応に関する研修について学びたい
- 臨床倫理についての研修を希望する
- 緩和ケア、包括的医療のことについて学びたい
- アフターコロナ外来などの取り組みや、面会制限による患者への影響と対応など
- 地域包括ケアの推進について
- 第6波について
- 最新情報を希望
- 今の妊婦は両親学級もなく出産もほとんど一人のため、妊婦のストレスや新しい取り組みなどがあれば聞きたい
- まだまだわからないことも多い covid-19 なので、今後もこのような現場でのお話を含めた研修をお願いしたい。
- 今後もコロナ禍状況は継続されることを考えると、徳島県としての患者の受け入れ重症度の検討もされると思うので、県全体でのこのような研修内容の共有も大切と思った。